

小学校社会科学習指導案（例）

指導学年：小学校 第5学年

指導者：担任教諭（T1）

栄養教諭（T2）

1 単元名 「我が国の農業と水産業における食料生産 日本の食料の安定した供給」

2 本時の目標

日本の食料生産における取組が、日本の食料の安定した供給につながっていることを考え、表現することができる。【(2)イ(7)】

3 評価規準

生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現している。【思考・判断・表現】

4 食育の視点

各地域の産物、食文化や食に関わる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。【食文化】

5 指導計画（全8時間）

- (1) 食料品の輸入先を調べ、学習課題を設定する。 (1時間)
- (2) 食料自給率が低下している理由について考える。 (1時間)
- (3) 食生活が世界の国々につながっていることを読み取る。 (1時間)
- (4) 食料生産をめぐる問題について、自分の考えをまとめる。 (1時間) 【本時】
- (5) 漁業生産における取組や、人々の工夫や努力について知る。 (1時間)
- (6) 安定した農業生産に向けた取り組みについて知る。 (1時間)
- (7) 国産の食料の良さについて自分の考えを深める。 (1時間)
- (8) これからの日本の食料生産のあり方についてまとめる。 (1時間)

6 本時の展開

	学習活動 予想される児童の反応 (行動・発言)	◇指導上の留意点 ◆支援を要する児童への手立て		評価規準 (評価方法)
		T 1	T 2	
導入	1 これまでの学習を振り返る。 ・自分たちの食生活と水産業の関わり ・主な漁港の水揚げ量と海流の様子 ・漁業関係者の仕事	◇前単元の学習を想起させる。		

	<p>2 広島県で漁獲量・収穫量が多い水産物について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイ ・タコ ・マグロ ・サーモン ・牡蠣 ・海苔 <p>3 動画「小いわし漁」を視聴する。</p>	<p>◇広島県で漁獲量・収穫量が多い水産物はどのようなものがあると思うかを問う。</p> <p>◇「広島県の水産物」(広島県農林水産統計年報より)を提示して、漁獲量・収穫量を確認させる。</p> <p>※「小いわし漁(広島魚市場株式会社)」(6:12) https://hirouo.com/sns.html</p>	<p>◇普段、どのような水産物を食べているのかを問い、活発な発言を促す。</p> <p>◇「小いわし料理」は、古くから広島県の郷土料理として継承されてきたことを伝える。</p>	
<p>めあて：伝統的な小いわし漁が持続するためにはどうすればよいか考えよう。</p>				
<p>展開</p>	<p>4 グラフから、日本の水産業をめぐる問題について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁獲量が年々減ってきている。 ・収入も減っているのかな？ ・日本の水産物の消費量も減っているのかな？ ・気候や環境の変化が影響しているのかな？ ・漁業で働く人も減っている。 ・若い人の割合も減っている。 ・自分もあまり魚を食べていないな。 	<p>◇資料「日本の漁獲量の変化」「漁業従事者数の変化」を提示する。</p> <p>◆グラフを拡大したり、見る範囲を限定したりして、視点を明確にする。</p> <p>◇必要に応じて、広島県に関する資料を示し、全国的な状況と広島状況を比較させる。</p> <p>◇児童の発言について、この後に提示する動画の中のない情報については、教師が資料を提示する。</p>	<p>◇外国産の水産物に付けられている表示を提示し、輸入された水産物が身近で販売されていることも意識させる。</p> <p>◇児童の実態に応じて、給食に魚が用いられていた日の残食量分かる資料を提示する。</p>	

	<p>5 動画「ひろしま給食_小いわし」を視聴し、小いわし漁や魚市場の様子、生産者の思いを知る。 ※動画 0:00～3:16</p> <p>6 日本の食料生産をめぐる問題とこれからの私たちの食生活について考える。</p>	<p>◇必要に応じて、動画の一時停止や再生を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気候や風土との関係 ・育つための条件 ・漁獲量 ・うれしいのはどんなとき？ <p>◇水産業に関わる人々の働きを考えたり、動画を基に消費者や生産者の立場などから多角的に考えたりできるよう助言する。</p>		<p>生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現している。【思考・判断・表現】 (発言・記述)</p>
	<p>児童のまとめ例</p> <p>気候や海の周りの環境、プランクトンの量などが、魚の成長に関係していることが分かりました。魚は、外国からも輸入されていますが、地元の魚を買って食べることは、広島県の水産業の発展につながると思いました。また、県内だけでなく、県外の人たちにも、小いわしなど広島県の魚を買って食べてもらいたいと思います。</p>			
<p>終末</p>	<p>7 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと魚を食べるようにしたい。 ・消費量を上げることが、広島県の郷土料理を守ることにつながる。 ・自分も「小いわし料理を」作って、食べてみたい。 		<p>◇「ひろしま給食」メニューや小いわしを使った給食の献立を紹介し、「小いわし料理」の継承について関心を高める。</p>	

7 板書計画

めあて：広島県の食料生産，水産業産のこれからについて考えよう。

水産業のさかんな地域

- ・自分たちの食生活と水産業の関わり
- ・主な漁港の水揚げ量と海流の様子
- ・漁業関係者の仕事

漁業関係者の顔

「日本の漁獲量の変化」

「漁業従事者数の変化」

「広島県の水産物」

(広島県農林水産統計年報より)

まとめ

「ひろしま給食」
メニュー・給食